



Beyond KUSS, 2024 !!



秋の学びは順調ですか

期末考査後の秋の学びは順調ですか。15日(金)からの4連休に続き、明日22日(金)から登校しなくてよい日が6日続きます。学びのベクトルを間違えず、前進しましょう。

共通テスト志願状況

今週9月19日(火)を共通テスト志願票の校内提出締切日にしていました。

7回生から10回生までの4年分の本校の共通テスト志願状況は右表のとおりです。900点満点以上での志願者が年々増加し、10回生は99%を超えました。さらに10回生の特徴は、成績通知を希望しない人が93%以上です。おそらく全国最高レベルでしょう。

省略

共通テスト志願票提出は、これから3月まで続く大学受験の始まりです。大学受験は「あきらめたモノ負け」のレースです。受験はスタートします。体調管理に気を配り、最後まであきらめずに学習を続けていきましょう。

定員割れの私立大学 53.3%

「定員割れの私立大 53.3%」というニュースが夏休みの最後に報道されています。日本私立学校振興・共済事業団が毎年発表している「[私立大学・短期大学等入学志願動向](#)」がニュースソースです。今年度の集計大学数は600校です。この5年間で私立大学が増加していることがわかります。2023年入試の特徴を次のようにまとめています。私立大学を「第1志望」とする人は少ないですが、出願を考えている人は参考にしてください。

入試年	大学数
2023	600
2022	598
2021	597
2020	593
2019	587

1 大学の概況

- 志願者数、受験者数、合格者数、入学者数は前年度から減少したが、入学定員は増加した。
- 入学者数は1,595人減少して、500,599人となった。
- 入学定員充足率は1.26ポイント下降して、99.59%となった。
- 入学定員充足率が100%未満の大学は37校増加して320校となり、**大学全体に占める未充足校の割合は6.0ポイント上昇して、53.3%となった。**

2 区分ごとの動向

- 規模別の動向
 - ・すべての区分において、入学定員充足率が下降した。
 - ・「1,500人以上 3,000人未満」、「3,000人以上」の区分では、入学定員充足率が前年度に続き100%を超えた。
- 地域別の動向(学校別)
 - ・入学定員充足率が上昇した地域は「京都」、「福岡」のみであり、「京都」が0.07ポイント、「福岡」が0.12ポイント上昇した。
 - ・「東京」、「愛知」、「京都」、「大阪」では、入学定員充足率が100%を超えた。
- 学部系統別の動向
 - ・入学定員充足率が上昇した学部系統は「歯学」、「農学系」のみであり、「歯学」が2.37ポイント、「農学系」が0.67ポイント上昇した。
 - ・「医学」、「理・工学系」、「農学系」、「社会科学系」、「体育学」、「芸術系」では、入学定員充足率が100%を超えた。

私立大は、18歳人口減少の影響もあり、入学定員を充足できない大学が増加傾向にある。都市部の大規模大学は志願倍率も高く、入学定員充足率も高いです。みなさんが出願を希望する大学はこのような人気大学になります。「滑り止め」や「安全校」という感覚で受験しても合格できない可能性があります。「第1志望」突破に向けて最善を尽くしましょう。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS, 2024!』など進路課が発信する情報の一部をHPに掲載しています。